

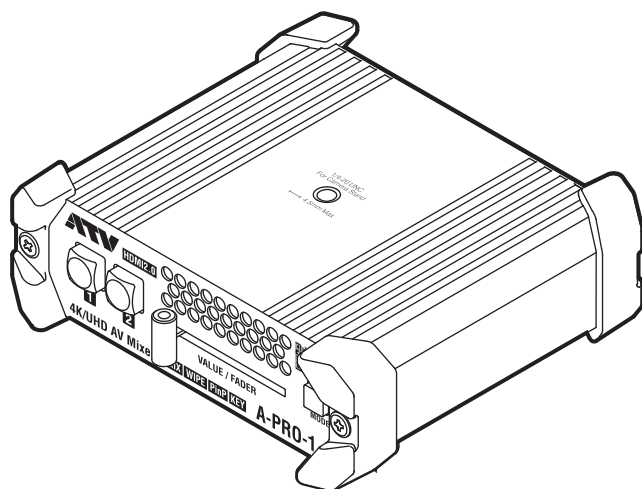


HDMI AVミキサー

A-PRO-1

スタートアップマニュアル

Ver.2.0



はじめに	1
機能と仕様	2
各部の名称とはたらき	3
外部機器の接続	4
基本の操作	5
映像と音声の操作	6
トラブルシューティング	7
サポートについて	8

本書をよくお読みいただき、内容を十分に理解した上で使用してください。
特に「安全上のご注意」は必ず読んで正しくお使いください。
本書は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために 必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本機を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	注意	注意(しなければならないこと)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	禁止	禁止(してはいけないこと)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	強制	強制(必ずすること)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	風呂場・シャワー室での使用禁止	製品を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	接触禁止	接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	分解禁止	製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	アダプタ、ケーブルを抜く	使用者にACアダプタをコンセントから、またはLANケーブルをネットワークから抜くように指示するもので、図の中に具体的な指示内容が描かれています。

⚠ 警告

	■ 次のような場合はすぐに電源プラグをコンセントから抜き、LANケーブルをネットワークから抜く。 ・煙が出ている、変なにおいや音がする場合 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙などが出なくなるのを確認して、お問合せ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。 ・機器の内部に水などがいった場合 ただちにお問合せ先にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ・異物が機器の内部に入った場合 ただちにお問合せ先にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。(特にお子様のいる環境ではご注意ください。) ・機器、ACアダプタ、電源コード、電源プラグに異常、故障、破損が発生した場合 お問合せ先に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	■ 本機を分解・改造しない。 ・火災・感電の原因となります。
	■ ACアダプタは必ず付属品を使用する。 ・火災・感電の原因となります。 ■ お使いの地域に適合したプラグの電源コードを使用する。 ・火災・感電の原因となります。
	■ 電源プラグ・ACアダプタの上に重いものを乗せたり、電源コードを本機の下敷きにしない。 ・電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。(電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物を乗せてしまうことがあります。) ■ 電源プラグ・ACアダプタを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 ・電源コードが破損して火災・感電の原因となります。 ■ タコ足配線をしない。 ・火災の原因となります。
	■ 次の場所で設置・使用しない。 ・火災・感電・故障・変色・変形の原因となることがあります。 ・温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など) ・水気の近く(風呂場、洗面台、濡れた床など)や湿度の高い場所 ・湯気や油煙が当たる場所 ・塩害の恐れがある場所 ・雨に濡れる場所 ・ほこりや砂ぼこりの多い場所 ・振動や揺れの多い場所 ・不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)
	■ 本機に水や異物を入れたり、液体の入った容器を置かない。 ・火災・感電の原因となります。

⚠ 警告



■ 強い衝撃を与えない。

- ・機器本体が破損、変形し、内部でショート状態となり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⚠ 注意



■ 本機を長時間、使用しないときは、必ず電源プラグ・ACアダプタをコンセントから抜く、または、LANケーブルをネットワークから抜く。

- ・火災の原因となることがあります。



■ 電源プラグ・ACアダプタはコンセントに根元まで確実に差し込む。

- ・差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。

■ ケーブル類は正しく配置する。

- ・足にひっかかり本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。



■ 電源プラグ・ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

- ・電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、電源プラグ・ACアダプタを本体を持って抜いてください。

■ 電源プラグ・ACアダプタの電源コードを熱器具に近づけない。

- ・電源コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

■ めれた手で電源プラグ・ACアダプタを抜き差ししない。

- ・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグ・ACアダプタを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない。

- ・発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



■ 移動させる場合は、必ずすべての接続を外す。

- ・外部のケーブルを接続したまま移動すると、ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



■ 本機に乗ったり、重い物を乗せない。

- ・特に、小さなお子様のいる環境での使用は注意してください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



■ やけどしないように注意する。

- ・本体は高温になりますので、やけどしないように注意してください。

使用上のご注意

■ 電源について

- ・本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品(冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど)と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズによって本機が誤動作したりノイズが発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。
- ・ACアダプタは長時間使用すると多少発熱しますが、故障ではありません。
- ・接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

■ 設置について

- ・本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- ・本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面が乱れたりラジオからノイズが出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- ・本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機からノイズが出たり映像が途切れたりすることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- ・極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく(結露する)ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。

■ お手入れについて

- ・通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

■ 修理について

- ・お客様が本機またはACアダプタを分解・改造された場合、以後の性能について保証できません。また、修理をお断りする場合があります。
- ・修理に出される場合、記憶内容が失われることがあります。記憶内容はバックアップを保存してください。失われた記憶内容の修復・補償は対応できません。ご了承ください。
- ・当社では、本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お問合せ先にご相談ください。

■ その他の注意について

- ・記憶内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。記憶内容はバックアップを保存してください。失われた記憶内容の修復・補償は対応できません。ご了承ください。
- ・故障の原因になりますので、入出力端子に過度の力を加えないでください。
- ・周囲に迷惑がかからないように、音量に十分注意してください。
- ・輸送や引っ越しをするときは、本機が入っていた箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- ・本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- ・本機で健康を害する恐れのある映像を制作しないでください。極めて速いスピードで映像切り替えを行うと、体調や体質によっては、頭痛や吐き気、発作などを引き起こす恐れがあります。本機で制作された映像について、当社は一切責任を負いません。

■ 知的財産権について

- ・文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本機を使用しないでください。お客様が本機を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。

目次

1	はじめに-----	7
	概要-----	7
	同梱品の確認-----	7
2	機能と仕様-----	8
	ブロック図-----	8
	メイン入出力 (MAIN IN / OUT) と サブ入出力 (SUB IN / OUT) -----	8
	製品仕様-----	9
	接続仕様-----	10
3	各部の名称とはたらき -----	11
	外観-----	11
	フロントパネルの名称とはたらき-----	12
	リアパネルの名称とはたらき-----	13
4	外部機器の接続-----	14
	映像入出力端子への接続 -----	14
	その他の接続-----	15
5	基本の操作-----	16
	電源の入れかたと切りかた -----	16
6	映像と音声の操作-----	17
	映像の切り替え、合成、効果-----	17
	音声の切り替え -----	24
7	トラブルシューティング -----	25
8	サポートについて -----	27

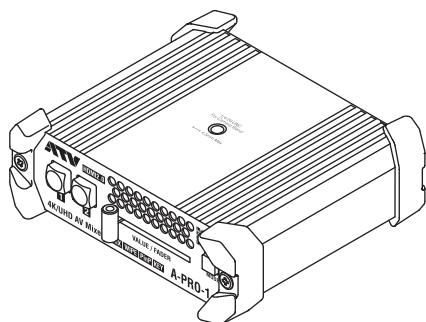
1 はじめに

概要

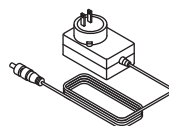
- ・ A-PRO-1は2系統の4K(UHD) 信号をシームレスに切り替えが可能な HDMI AVミキサーです。
- ・ HDMIに重畳(エンベデッド)された音声も、同時に切り替えやミックスが可能です。
- ・ 全てのHDMI入出力端子にはアップコンバーター、ダウンコンバーターが内蔵されているため、4K非対応の機器でも意識することなく接続が可能です。

同梱品の確認

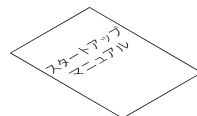
本製品のパッケージ内容です。
お買い上げのパッケージに下記のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。



A-PRO-1



ACアダプタ



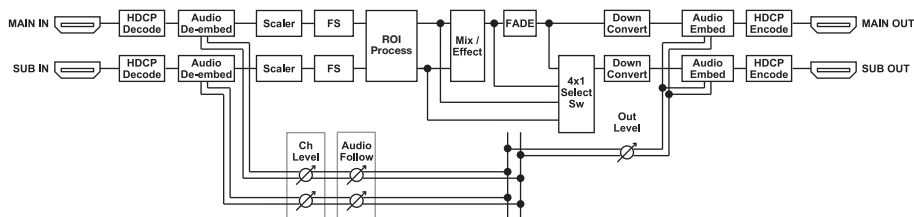
スタートアップマニュアル(本書)

2 機能と仕様



製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ブロック図



メイン入出力(MAIN IN / OUT)とサブ入出力(SUB IN / OUT)

本機は、出荷状態では、メイン入力(MAIN IN)の信号がボタン[1] (レイヤー [1]) に、サブ入力(SUB IN)の信号はボタン[2] (レイヤー [2]) に割り当てられています。

レイヤー [1] は背面(下位レイヤー)として表示され、レイヤー [2] は前面(上位レイヤー)として常に表示されます。

レイヤー [1] の映像をピクチャ・イン・ピクチャの子画面に表示することはできませんので、子画面に表示したい映像はサブ入力へ接続ください。

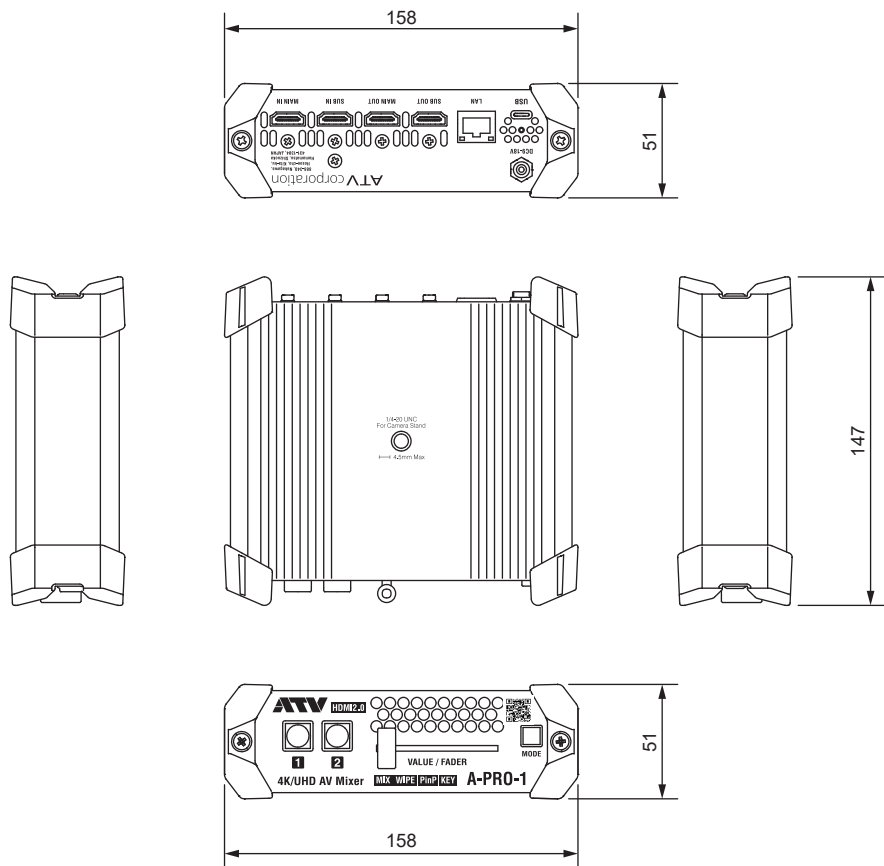
同様に、テロップ映像はサブ入力に接続する事で、メイン映像の上にテロップを付加する事ができます。

※ROI機能を使う事で、メイン入力をレイヤー [2] に割り当てたり、サブ入力をレイヤー [1] に割り当てることができます。詳しくはリファレンス・マニュアルを参照ください。

メイン出力(MAIN OUT)は、常にミックス・エフェクト処理された信号が出力されます。

サブ出力(SUB OUT)は、出荷状態ではメイン出力と同じ信号が出力されていますが、レイヤー [1]や、レイヤー [2]の信号を出力する事もできます。

製品仕様



項目	内容
外形寸法[mm]	幅158×奥行147×高さ51
質量	750g (ACアダプタを除く)
動作温度	+0 ~ +40°C
同梱品	AC アダプタ スタートアップマニュアル

接続仕様

入力端子

項目		内容
MAIN IN	端子	HDMI Type A コネクタ
	規格	HDMI2.0 (18Gbps), HDCP2.2/1.4
	映像フォーマット	3840x2160 60p/59.94p/50p/30p/29.97p/25p/24p/23.98p
		1920x1080 240p/239.76p/200p/144p/120p/119.88p/100p/60p/59.94p/50p/30p/29.97p/25p/24p/23.98p
		1280x720 60p/59.94p/50p/30p/29.97p/25p/24p/23.98p
		720x480 60p/59.94p (16:9)
		720x576 50p (16:9)
SUB IN	カラーサンプリング	12bit YCC4:2:2, 8bit YCC/RGB4:4:4, 8bit YCC4:2:0
	音声フォーマット	リニアPCM, 16 ~ 24bit, 44.1 ~ 96kHz, 2 ~ 8ch
	端子	MAIN INと同じ
	規格	MAIN INと同じ
	映像フォーマット	MAIN INと同じ
	音声フォーマット	MAIN INと同じ

出力端子

項目		内容
MAIN OUT	端子	HDMI Type A コネクタ
	規格	HDMI2.0 (18Gbps), HDCP2.2/1.4
	映像フォーマット	3840x2160 60p/59.94p/50p/30p/29.97p/25p/24p/23.98p
		1920x1080 240p/239.76p/200p/120p/119.88p/100p/60p/59.94p/50p/30p/29.97p/25p/60i/59.94i/50i
	カラーサンプリング	12bit YCC4:2:2, 8bit YCC/RGB4:4:4, 8bit YCC4:2:0
	音声フォーマット	リニアPCM, 24bit, 48kHz, 2 ~ 8ch
SUB OUT	端子	MAIN OUTと同じ
	規格	MAIN OUTと同じ
	映像フォーマット	MAIN OUTと同じ
	カラーサンプリング	MAIN OUTと同じ
	音声フォーマット	MAIN OUTと同じ

その他端子

項目		内容
USB2.0	端子	USB Type C コネクタ
	規格	USB 2.0 Full Speed (FS)
LAN	端子	RJ45
	規格	10/100/1000Base-T
	プロトコル	TELNET(リモート), UDP(連動), FTP(静止画), SNMP(トラップ), SNMP(時刻)
DC IN	端子	スクリューロック付き DCジャック
	入力電圧	12V
	消費電力	24W

3 各部の名称とはたらき

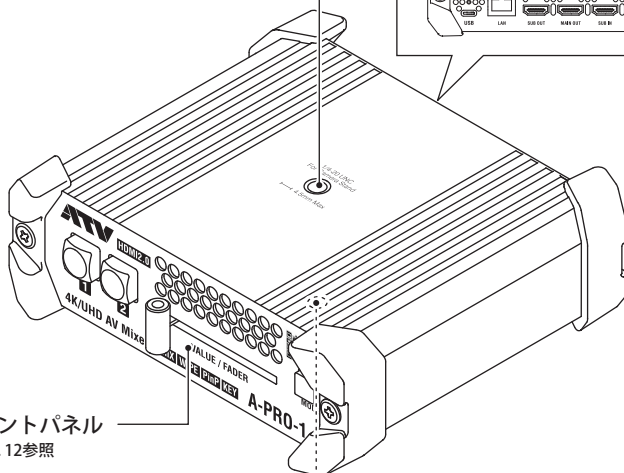
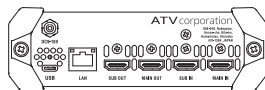
外観

カメラスタンドネジ穴

フロントパネル
→ P. 12参照

カメラスタンドネジ穴

リアパネル
→ P. 13参照



カメラスタンドネジは、長さ4.5mm以下のものをお使いください。

フロントパネルの名称とはたらき



吸気口をふさがないでください。

INPUTボタン

入力映像の切り替えやミックスをします

1 : Layer [1] (MAIN IN)

2 : Layer [2] (SUB IN)

〈INPUTボタンの状態〉

赤 : 入力信号は出力中

緑 : 入力あり

黒 : 入力無し

点滅 : トランジション動作中

橙 : 入力信号の品位の悪化

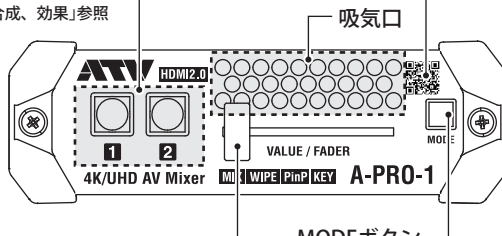
→ P.17「映像の切り替え、合成、効果」参照

QRコード

スマートフォンなどで読み込むと、製品サポートページへアクセスします

本製品のマニュアルやリモートソフトウェア、最新のファームウェアなどがダウンロードできます

→ P.27「サポートについて」参照



フェーダー

映像の手動切り替えや出力映像を黒映像にフェードアウトするときなどに使用します

出荷時設定：左に動かすと徐々に出力映像を黒映像にフェードアウトします
また、左右の動きで音量を調整します

→ P.23「映像と音声をフェードアウトする(出荷時設定)」参照

MODEボタン

映像の切り替え方法の変更や、自動でフェードアウト動作するときなどに使用します

出荷時設定：映像の切り替え方法を変更します

→ P.17「映像の切り替え、合成、効果」参照

リアパネルの名称とはたらき

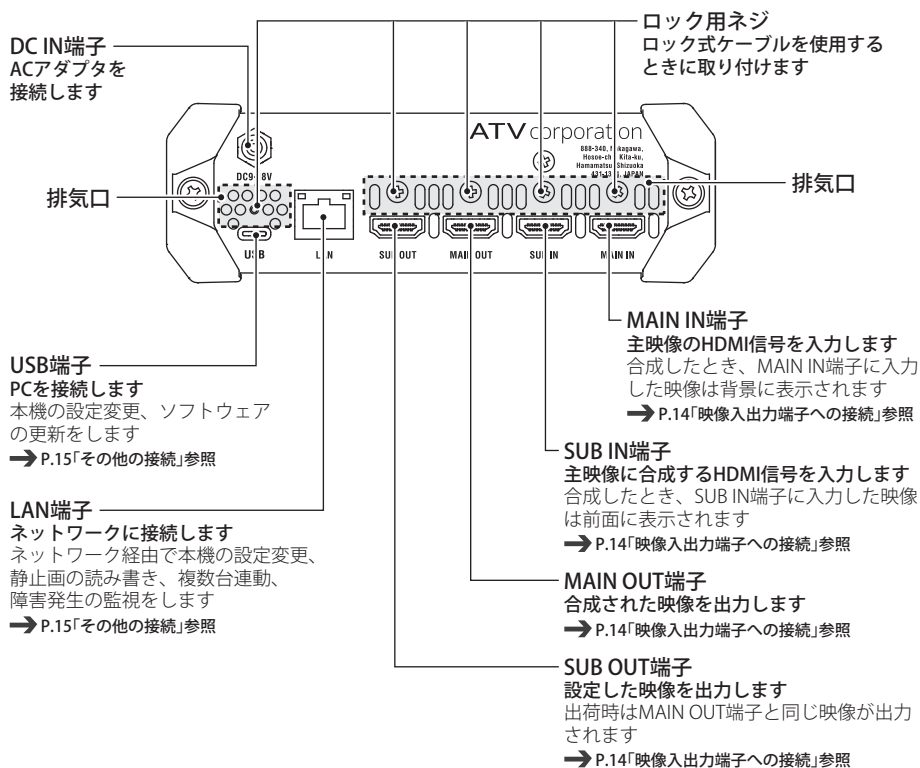


排気口をふさがないでください。



各種設定にはリモートコントロールソフトAP-USB-RSが必要です。

ATV株式会社 Webサイトから無償でダウンロードできます。→ P.27「サポートについて」参照

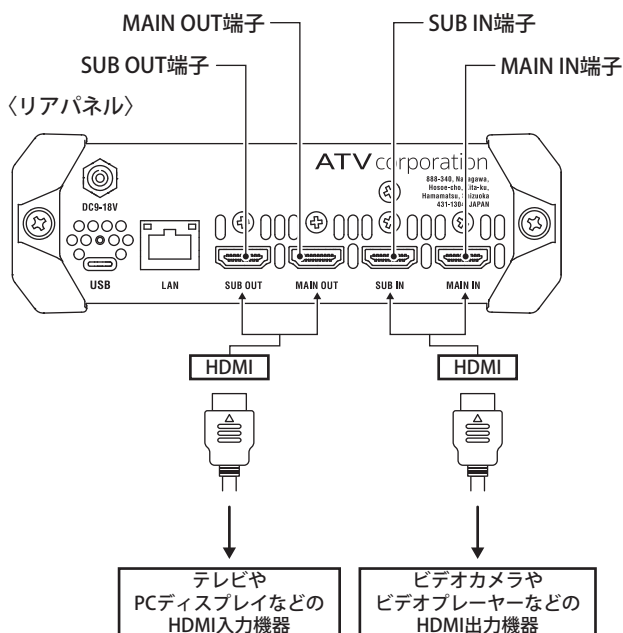


4 外部機器の接続

映像入出力端子への接続



本機はインターレース信号の入力には対応していません。

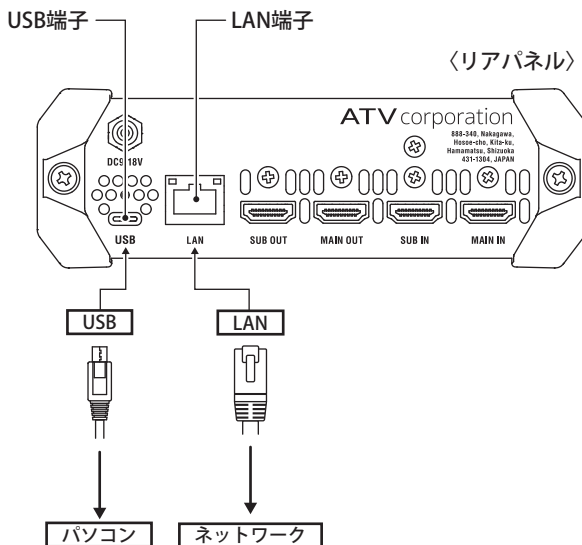


接続	端子名	内容
映像入力端子への接続	MAIN IN端子	- ビデオカメラやビデオプレーヤーなどのHDMI出力機器を接続します。通常、フォーマットは自動で設定されますが、INPUTボタンが点灯しない場合は、出力機器の設定を本機の対応フォーマットに設定してください。 4K(UHD)信号は非常に高速でデリケートな信号です。接続には4K(UHD)に対応した高品位なHDMIケーブルをお使いください。
	SUB IN端子	
映像出力端子への接続	MAIN OUT端子	テレビやPCディスプレイなどのHDMI入力機器を接続します。通常、フォーマットは自動で設定されますが、映像が表示されない場合は、本機の出力量フォーマット設定を確認してください。詳しい設定の方法は、リファレンスマニュアルをご覧ください。
	SUB OUT端子	

その他の接続



LAN端子に接続する前に必ずリモートコントロールソフト AP-USB-RS で各種設定を実施してください。
正しく設定しないまま接続すると、接続したネットワークに障害を引き起こす可能性があります。



接続	端子名	内容
LAN端子の接続	LAN端子	本機はネットワークと接続して、様々な機能のコントロールができます。 詳しい使い方は、リファレンスマニュアルをご覧ください。
USB端子の接続	USB端子	本機はPCのUSB端子と接続して、内部パラメーターの変更や、本機のソフトウェアのアップデートができます。 詳しい使い方は、リファレンスマニュアルをご覧ください。

5 基本の操作

電源の入れかたと切りかた



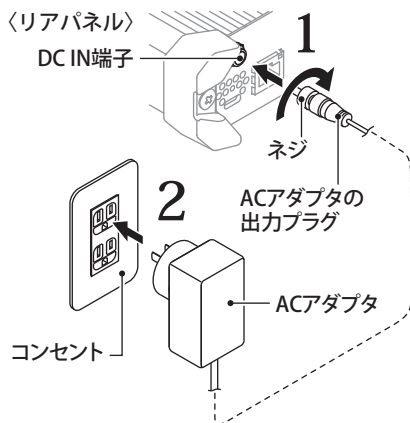
ACアダプタは同梱品以外のものは使用しないでください。

電源の入れかた



本機は電源を入れてから立ち上がるまでに1分程度の時間がかかります。

- 1 ACアダプタの出力プラグをDC IN端子に差し込み、ネジを回してしっかりと固定します。
- 2 ACアダプタをコンセントに差し込みます。

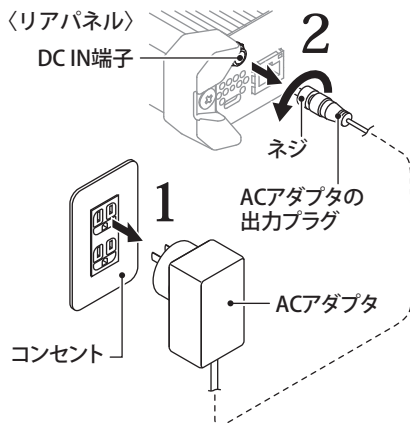


電源の切りかた



入力の切り替え動作中に電源を切ると、最後に選択した入力記憶されていない場合があります。

- 1 ACアダプタをコンセントから抜きます。
- 2 ACアダプタの出力プラグのネジを回して外し、DC IN端子から抜きます。



6 映像と音声の操作

映像の切り替え、合成、効果

映像の切り替え、合成方法の変更(出荷時設定)

MODEボタンで様々な映像の切り替え方法が選択できます。
MODEボタンを押す毎にボタンの点灯色と動作が切り替わります。

ボタンの点灯色	動作
水	MIXエフェクト動作
黄	ワイプ動作
緑	ピクチャ・イン・ピクチャ動作
紫	スプリット動作
青	アルファ動作
橙	ROI動作
白	CUT切り替え動作

※フェードアウト動作中は赤と交互に点灯します。

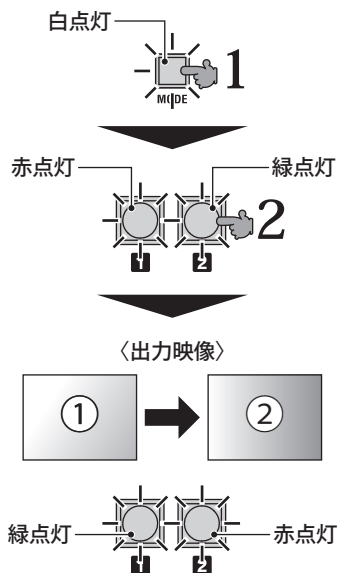
※HDCP非対応の機器がMAIN OUTまたはSUB OUT端子に接続された場合、MODEボタンは赤点滅をします。

カットで映像を切り替える

〈INPUT ボタン

例：元の映像[1](赤点灯)、
切り替え映像[2](緑点灯)の場合〉

- 1 MODEボタンを押して白点灯に切り替えます。
- 2 切り替え映像の[2]ボタンを押します。
出力映像が切り替わります。
元の映像の[1]ボタンが緑点灯して、切り替え映像の[2]ボタンが赤点灯します。



ミックスで映像を切り替える

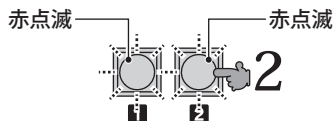
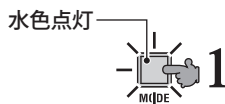
〈INPUT ボタン

例：元の映像[1] (赤点灯)、
切り替え映像[2] (緑点灯) の場合〉

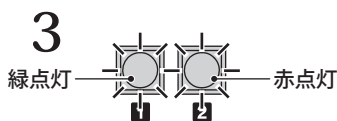
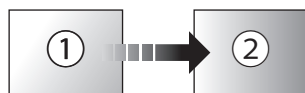
- 1 **MODEボタンを押して水色点灯に切り替えます。**
- 2 **切り替え映像の[2]ボタンを押します。**
出力映像が徐々に切り替わります。
切り替え中はINPUTボタン[1][2]が赤点滅します。
- 3 **切り替えが完了すると、元の映像の[1]ボタンが緑点灯して、切り替え映像の[2]ボタンが赤点灯します。**



切り替え時間は、リモートコントロールソフトAP-USB-RSで変更できます。



〈出力映像〉



ワイプで映像を切り替える

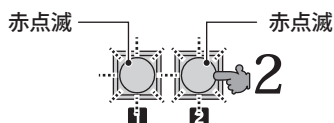
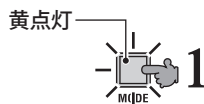
〈INPUT ボタン

例：元の映像[1] (赤点灯)、
切り替え映像[2] (緑点灯) の場合〉

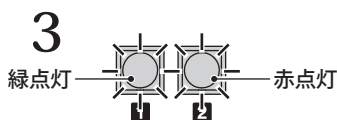
- 1 **MODEボタンを押して黄点灯に切り替えます。**
- 2 **切り替え映像の[2]ボタンを押します。**
元の映像の領域が減り、切り替え映像の領域が徐々に増えます。
切り替え中はINPUTボタン[1][2]が赤点滅します。
- 3 **切り替えが完了すると、元の映像の[1]ボタンが緑点灯して、切り替え映像の[2]ボタンが赤点灯します。**



切り替え時間やタイプなどの各種パラメーターは、リモートコントロールソフトAP-USB-RSで変更できます。



〈出力映像〉

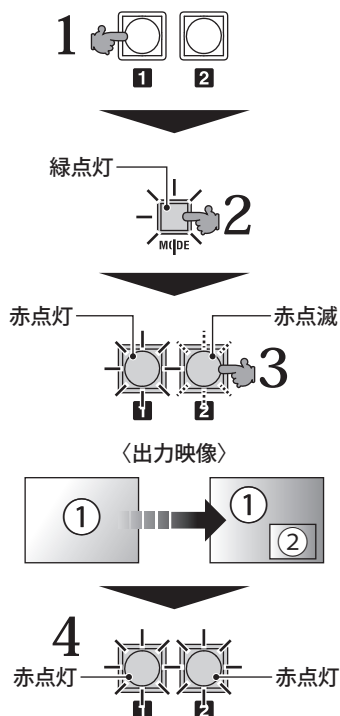


ピクチャ・イン・ピクチャで子画面をフェードインさせる

- 1 INPUT[1]ボタンを押して、出力映像をMAIN INに切り替えます。
- 2 MODEボタンを押して緑点灯に切り替えます。
- 3 INPUT[2]ボタンを押します。
SUB INの映像が子画面として徐々に表示されます。
INPUT[2]ボタンが赤点滅します。
- 4 子画面の表示が完了すると、INPUT[2]ボタンが赤点灯します。

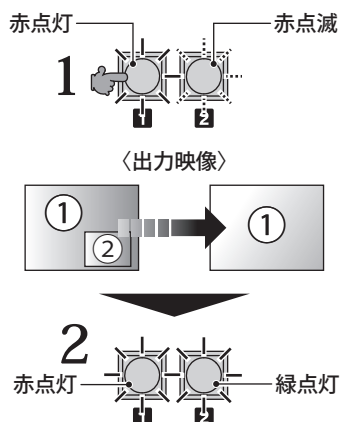


子画面の位置やサイズなどの各種パラメーターは、リモートコントロールソフトAP-USB-RSで変更できます。



ピクチャ・イン・ピクチャで子画面をフェードアウトさせる

- 1 ピクチャ・イン・ピクチャ表示している状態で、INPUT[1]ボタンを押します。
子画面が徐々に消えていきます。
INPUT[2]ボタンが赤点滅します。
- 2 子画面が完全に消えると、INPUT[2]ボタンが緑点灯します。

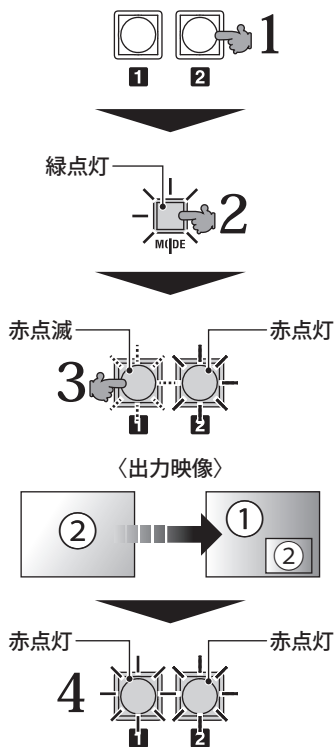


ピクチャ・イン・ピクチャで出力映像を縮小して子画面にする

- 1 INPUT[2]ボタンを押して、出力映像をSUB INに切り替えます。
- 2 MODEボタンを押して緑点灯に切り替えます。
- 3 INPUT[1]ボタンを押します。
SUB INの映像が徐々に小さくなって子画面表示されます。
INPUT[1]ボタンが赤点滅します。
- 4 設定された子画面サイズになると、INPUT[1]ボタンが赤点灯します。

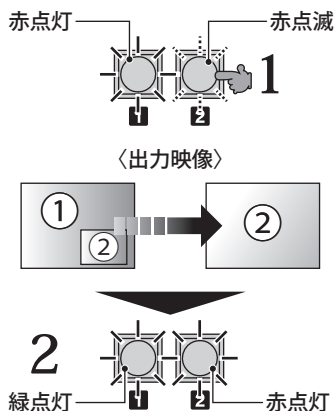


子画面の位置やサイズなどの各種パラメーターは、リモートコントロールソフトAP-USB-RSで変更できます。



ピクチャ・イン・ピクチャで子画面を拡大して背景映像を消す

- 1 ピクチャ・イン・ピクチャ表示している状態で、INPUT[2]ボタンを押します。
子画面が徐々に拡大していきます。
INPUT[2]ボタンが赤点滅します。
- 2 子画面が全画面表示になると、INPUT[1]ボタンが緑点灯、INPUT[2]ボタンが赤点灯します。



スプリット表示にする

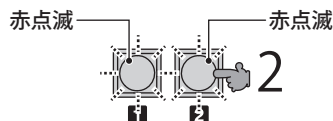
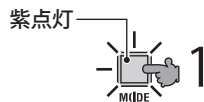
〈INPUT ボタン

例：元の映像[1] (赤点灯)、
追加映像[2] (緑点灯) の場合〉

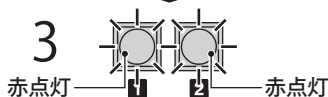
- 1 **MODE**ボタンを押して紫点灯に切り替えます。
- 2 追加映像の[2]ボタンを押します。
元の映像の領域が減り、追加映像の領域が徐々に増えます。
INPUT[1][2]ボタンが赤点滅します。
- 3 設定されたスプリット位置までくると、
INPUT[1][2]ボタンが赤点灯します。



スプリットの各種パラメーターは、リモートコントロールソフトAP-USB-RSで変更できます。



〈出力映像〉

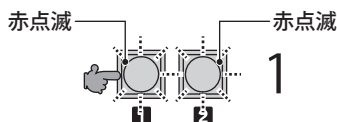


スプリット表示を解除する

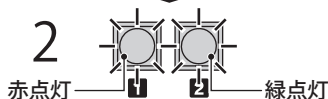
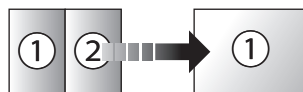
〈INPUT ボタン

例：消去する映像[2]の場合〉

- 1 スプリット表示の状態で、消去する映像の[2]ボタンを押します。
消去する映像の領域が徐々に減ります。
INPUT[1][2]ボタンが赤点滅します。
- 2 消去する映像が完全に消えると、消去した映像の[2]ボタンが緑点灯、[1]ボタンが赤点灯します。



〈出力映像〉

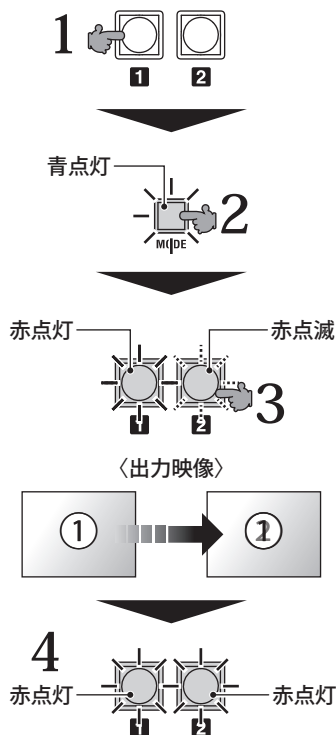


アルファ合成(キー合成)をする

- 1 INPUT[1]ボタンを押して、出力映像をMAIN INに切り替えます。
- 2 MODEボタンを押して青点灯に切り替えます。
- 3 INPUT[2]ボタンを押します。
SUB INの映像がアルファ合成されて徐々に表示されます。
INPUT[2]ボタンが赤点滅します。
- 4 SUB INの映像が完全に表示されると、INPUT[2]ボタンが赤点灯します。

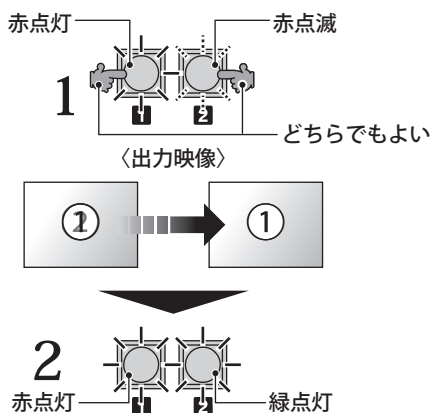


アルファ合成の各種パラメーターは、リモートコントロールソフトAP-USB-RSで変更できます。



アルファ合成(キー合成)を解除する

- 1 アルファ合成をしている状態で、INPUTボタンを押します。(どちらでもよい)
SUB INの映像が徐々に消えていきます。
INPUT[1][2]ボタンが赤点滅します。
- 2 SUB INの映像が完全に消えると、INPUT[1]ボタンが赤点灯、INPUT[2]ボタンが緑点灯します。

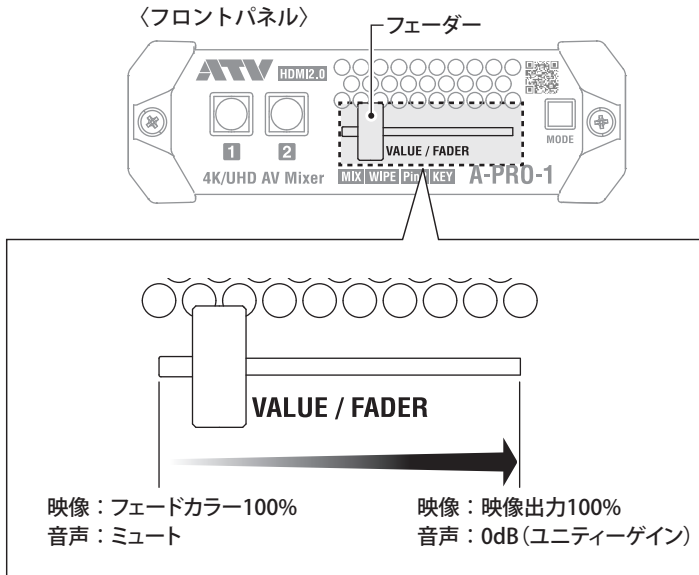


映像と音声をフェードアウトする(出荷時設定)

フェーダーに映像と音量の調整機能がアサインされています。

出力	フェーダーの位置	
	左端	右端
映像	フェードカラー 100%	映像出力100%
音声	ミュート	0dB(ユニティーゲイン)

※フェーダーが右端以外にある場合、MODEボタンが赤点滅します。



その他の映像効果

本機はこの他にも、スチル(静止画)機能や、ROI(領域切り出し)機能などが搭載されています。これらの機能は、PC用のリモートコントロールソフトウェアAP-USB-RSを使って設定が可能です。詳しくはリファレンスマニュアルをご覧ください。



AP-USB-RS、リファレンスマニュアルはATV株式会社 Webサイトから無償でダウンロードできます。
→ P.27「サポートについて」参照

音声の切り替え

音声の切り替え(出荷時設定)

音声の切り替えはMODEボタンの状態によって変わります。

ボタンの点灯色	動作
水	映像と一緒に徐々に切り替わります。
黄	映像と一緒に徐々に切り替わります。
緑	音声フェードインミックスされます。
紫	両方の音声ミックスされます。
青	SUB IN側の音声フェードインミックスされます。
橙	映像と一緒に徐々に切り替わります。
白	映像と一緒に瞬時に切り替わります。

7 トラブルシューティング

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お確かめください。
それでも改善されない場合は、ATV株式会社Webサイト(➡P.27参照)をご覧ください。

映像

こんなときは	ここをお確かめください	対処法	参照
HDMI信号が入力されない。 (INPUTボタンが緑点灯しない)	"System HDCP Mode"が"Off"になっていませんか？	"System HDCP Mode"を"On"に設定度、電源を再投入してください。	➡リファレンスマニュアル
	HDMI規格に準拠していないケーブルを使用していないですか？	HDMI2.0は非常に高速な信号です。HDMI1.4では問題が無かったケーブルでも、HDMI2.0では問題が起こることがあります。接続には高品位なHDMI2.0対応ケーブルをお使いください。	
INPUTボタンを押しても映像が表示されない。 (INPUTボタンは緑点灯している)	フェードアウト機能が働いていませんか？	MODEボタンが赤点滅している場合は、MODEボタンを一度押してください。またはフェーダーを左右に動かしてみてください。	
	アルファ合成が動作していませんか？	"M/E Type"パラメーターをAlpha以外に設定してください。またはアルファ合成の各パラメーターを適切な値に調整してください。	➡リファレンスマニュアル
	STILL(静止画)が選択されていませんか？	"Main In Still"や"Sub In Still"を"Off"に設定してください。	➡リファレンスマニュアル
INPUTボタンが効かない。	"Fader Assign"パラメーターが"Transition"に設定されていませんか？	フェーダーを左右に動かしてみてください。 "Fader Assign"を"Transition"以外の設定にしてください。	➡リファレンスマニュアル
	"Panel Lock"パラメーターが"On"になっていませんか？	パネル操作が必要な場合は"Panel Lock"を"Off"でお使いください。	➡リファレンスマニュアル
出力信号が接続先で認識されない。	接続機器はHDCP対応機器ですか？	本機は著作権保護機能のHDCPに対応しています。HDCPに対応したHDMI出力機器の多くは、著作権保護情報の有無にかかわらず、常にHDCPを掛けた状態で出力します。そういった機器を入力に接続する場合、本機は"System HDCP Mode"を"On"に設定する必要があります。	➡リファレンスマニュアル
	接続機器は1080i/pまたは2160pに対応していますか？	本機の出力解像度は1080i/pまたは2160pのいずれかとなっています。1080i/pまたは2160pに対応した機器をお使いください。	
	接続機器は本機の出力するフレームレートに対応していますか？	"System Frame Rate"を接続機器が対応しているフレームレートに設定してください。	➡リファレンスマニュアル

こんなときは	ここをお確かめください	対処法	参照
入力映像の片方が乱れる	"System Frame Rate"は"Sync Reference"で設定した入力のフレームレートに一致していますか？	"System Frame Rate"を"Sync Reference"で選択した入力のフレームレートに合わせるか、"Sync Reference"を"Internal"に設定してください。	→リファレンスマニュアル

音声

こんなときは	ここをお確かめください	対処法	参照
音声が入力されない。 (出力されない)	PCM以外の音声信号を入力していませんか？	本製品は Linear PCM にのみ対応しています。 HDMI出力機器の設定をご確認ください。	
	"Audio In"パラメーターの設定が、-∞dBになっていませんか？	"Audio In"を 0dBに戻してください。	→リファレンスマニュアル
	"Output Audio Level"パラメーターの設定が、-∞dBになっていませんか？	"Output Audio Level"を 0dBに戻してください。	→リファレンスマニュアル
	"Fader Assign"パラメーターが"AV Fade"または"Audio Fade"に設定されていませんか？	フェーダーを左右に動かしてください。 "Fader Assign"を""AV Fade"または"Audio Fade"以外の設定にしてください。	→リファレンスマニュアル
	接続先のHDMI機器が、48kHzサンプリングに非対応ではありませんか？	本製品のHDMI出力のサンプリング周波数は48kHz固定となっています。 48kHz対応機器を接続してください。	

その他

こんなときは	ここをお確かめください	対処法	参照
皮膚の薄い部分が筐体に触れるとビリビリすることがある。		他の接続機器からの回り込み等により、筐体に微量の帯電が起こる場合があります。 必要に応じてアースを取るなどしてください。	

8 サポートについて

最新のサポート情報は当社(下記)Webサイトをご覧ください。

■ **ATV株式会社Webサイト**

<http://www.atvcorporation.com/>

■ **製品ページ**

<http://www.atvcorporation.com/products/videos/a-pro-1/>

保証書

本書は、保証規定に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの際に以下にご記入、およびユーザー登録、お買い上げ伝票の貼り付けを行ってください。

◆保証対象製品名：A-PRO-1

◆E-mail

◆保証期間：お買い上げ日より1年間

◆下記よりユーザー登録を行ってください。

<https://www.atvcorporation.com/support/registration/>

◆お買い上げ日： 年 月 日

◆お買い上げ伝票を貼り付けてください。

◆お名前： 様

◆ご住所：〒

◆電話番号：() -

◆携帯番号：() -

保証規定

- 保証期間内において、スタートアップマニュアル・本体ラベルなどの注意書きに従った正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理いたします。保証期間内かどうかは、本書の表面に貼付された、販売店からのお買い上げ伝票により確認を行います。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理といたします。
 - (1) 本書のご提示がない場合
 - (2) 本書にお買い上げ伝票の貼付がない場合、または当該お買い上げ伝票の記載を書き換えた場合
 - (3) 保証期間内に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合
 - (4) 使用上の誤り(スタートアップマニュアル、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷
 - (5) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷
 - (6) 移設、輸送、落下などによる故障・損傷
 - (7) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障・損傷
 - (8) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
 - (9) その他、メーカーや販売店の判断により保証外とみなされた場合
- ユーザー登録について
お客様とより円滑なコミュニケーションをとり、末永くご使用いただけるように製品のユーザー登録をおすすめています。
記載のURLより是非登録をお願いいたします。
- 製品のご返送前に予め下記までメールでご連絡をお願いいたします。故障かどうかの確認、返送先のご連絡などを行います。メールアドレス：support@atvcorporation.com
- 運送費用について
事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内で修理の場合は、着払いにて受け付けます。その他につきましては、お客様のご負担にて、発送をお願いいたします。
- 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
- 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は、当社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
- 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
- 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失などする場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
- 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

※本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間後の修理などにつきましては、前記までメールでお問合せください。

ATV株式会社 ユーザーサポート(修理窓口)

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川1888-340

電話：053-523-1123【受付時間：平日9:00～18:00】

ホームページ：<http://www.atvcorporation.com/>